



中小企業の明日を支える人材が集まる

中小企業支援士協会報

発行：中小企業支援士協会2026年1月26日（月2回発行通番第104号）

中小企業予算案が発表されました

皆さんこんにちは、中小企業支援士協会代表 落藤伸夫です。中小企業を支える皆さんにメッセージをお送りします。

中小企業庁サイトに「令和7年度補正予算・令和8年度当初予算関連」が掲載されています。これを昨年版と比較して、特徴を洗い出してみます。

https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/yosan/r8/r7_r8_shokibo.pdf

1. 「物価高対応」から「構造転換・規模成長」へ重心が明確にシフト

昨年版は、物価高・エネルギー高・人手不足に防御的対応する姿勢で、資金繰り支援、価格転嫁、下請法執行が大きな柱となり、賃上げは「環境整備」が中心でした。今年版は事業環境は厳しいと認識しつつ「事業規模・成長ステージ別にどう伸ばすか」に関心を向け、成長投資・規模拡大・生産性の抜本的向上を目指す文脈で賃上げ実現を目指す論調です。

2. 「100億企業」「中堅化」を明確に政策ターゲット化

中堅・中小大規模成長投資補助金が昨年 1,400億円から大幅拡充され、4,121億円となりました。「100億宣言企業」向けに補助枠を明示的に確保し、省力化・賃上げ・事業規模拡大を前提とした“大型投資”を強く後押しする方向性であることが、今年版の最も大きな特徴だと感じられます。

3. 伴走支援が拡大、「点」から「プッシュ型・複線型」へ

今年版で、複数支援機関を通じてプッシュ型支援を行うと示されました。よろず支援拠点には「生産性向上センター」が置かれ、強力推進されます。

以上のように質的に大きく変化した予算だったと感じています。今後の方向性を占う意味でも、直接ご確認されるようお勧めします（代表：落藤伸夫）

協会活動報告

【未掲コラム】成長エンジンに乗る決意を固める（2026/1/5）

<https://www.innovations-i.com/column/ctf/82.html>

【未掲コラム】成長エンジンに乗る3要素を固める（2026/1/13）

<https://www.innovations-i.com/column/ctf/83.html>

【事業性評価支援士協会note】<https://note.com/financing>

支援雑感

生産性向上にフォーカスし続ける

高市総理が衆議院を解散、2月初旬の投票に向けて選挙が話題に登ることが多くなりました。これからしばらく熱い議論が交わされますが、一つ心配になるのは、現在の物価高について「補助や減税で対応」という論調が多いことです。物価の上昇原因には「需要の過熱」と「原材料等の上昇」の2つがあり、現在は原材料等の上昇であることは明らかです。とするなら生産性の向上をいの一歩に検討する必要がありますが、その声は余り聞こえません。当座の救済措置がメインに議論されているように感じます。

メイン記事にも掲載したように、中小企業向け予算は生産性向上に向けて予算額が増額されています。これを活用して個々企業が生産性・収益性を高めることが肝要なのです。選挙に向けて議論を戦わせることも大切ですが、企業にとって一番大切なのは、常に「自社の努力で向上する」意識を忘れないこと。支援者として、いつもリマインドしていいたいと考えています。

読書感想

「あなたの一生を支える世界最高の学び」

（飯田 史也）

この本は、著者がケンブリッジ大学教授であることに惹かれて手に取りました。著者はコンピューター工学を専門にしているとのことですが、この本では専門分野に一切触れていません。ケンブリッジ大学での教授法についても具体的記述は少なめです。文学・歴史から社会科学、自然科学のあらゆる分野で120人以上のノーベル賞受賞者を生むなど、世界でもトップクラスの大学であるケンブリッジ大学の「秘密」にフォーカスする本でした。

その秘密はオビにもあるので記しても良いでしょう、「コミュニケーション」です。教授やチューター、クラスメートから、食堂でテーブルを共にする他学部生・ゲストなどまで、多彩な人々と頻繁にコミュニケーションすることが、有意な人材を生むための、800年蓄積された秘訣だと指摘されています。

自分の専門分野についての学びは義務として、かつ楽しみながら行っていますが、専門外の学びは少ない、それもコミュニケーションしながら学ぶ機会をあまり捉えていなかったと反省し、良い学びができたと感じています。

発行者：中小企業支援士協会

Small and medium Business Supporters Association

参加団体：事業性評価支援士協会

（中小企業支援士事務所StrateCutions内）

連絡先：info@besa-sc.com（担当者）落藤伸夫